

## 第20回定時株主総会決議ご通知

当社第20回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- 第20期（2015年5月1日から2016年4月30日まで）  
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  - 第20期（2015年5月1日から2016年4月30日まで）  
計算書類報告の件  
本件は、上記1.及び2.の内容を報告いたしました。

**決議事項 第1号議案 剰余金処分の件**  
本件は、原案どおり承認可決され、1株につき4円50銭の期末配当を実施することに決定いたしました。

**第2号議案 取締役1名選任の件**  
本件は、原案どおり承認可決され、阿部智樹氏が再選され重任いたしました。

**第3号議案 監査役2名選任の件**  
本件は、原案どおり承認可決され、中辻一剛氏が再選され、新たに植松定啓氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

### 配当金のお支払いについて

第20期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡しの期間内（2016年7月25日から2016年8月31日まで）に最寄りのゆうちょ銀行本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）でお受取りください。  
また、金融機関振込をご指定の方には、「期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」を同封いたしましたので、ご確認ください。

## 会社概要 （2016年4月30日現在）

**社名** 株式会社ラクーン  
(英語名: RACCOON CO.,LTD.)  
**本社** 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-14-14  
**大阪支社** 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-11-28  
Daiwa南船場ビル 4階  
**創業** 1993年9月  
**設立** 1995年9月（法人登記）  
**株式** 東京証券取引所市場第一部上場（証券コード3031）  
**従業員数** 136名 うち社員104名（2016年4月30日現在）

## 株式の状況

●発行可能株式総数 37,411,200株  
●発行済株式総数 18,312,300株  
●株主数 5,704名



## 株主メモ

**事業年度** 毎年5月1日から翌年4月30日まで  
**定時株主総会** 毎年7月  
**基準日** 定時株主総会 4月30日  
期末配当金 4月30日  
中間配当金 10月31日

**株主名簿管理人**  
**特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
**同連絡先** 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話:0120-232-711（通話料無料）

**株式の売買単位** 100株  
**公告方法** 電子公告により当社ホームページ  
(<http://www.raccoon.ne.jp/>) に掲載いたします。  
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ra((oon

# raccoon report

## 第20回 定時株主総会決議ご通知

2015年5月1日～2016年4月30日



証券コード:3031



代表取締役社長

小方 功

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援及び格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2016年4月期の「raccoon report」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2016年4月期は、Paid事業が第2四半期連結会計期間に黒字転換いたしました。企業間取引におけるスタンダードな決済方法である掛売り決済を、手間なく安心して導入できることからPaidを利用したいという企業のニーズは非常に高いと認識しております。EC事業、売掛債権保証事業につづく収益基盤になることを期待しており、事業規模の拡大に努めてまいります。

近年、FinTechと呼ばれるITを活用した金融・決済・財務等に関わる新たなテクノロジー・サービスが、顧客利便性の向上や金融機関としての独自性・差別化を実現するソリューションとして注目を浴びており、金融を取り巻く環境が急速に変化しております。

Paidの事業成長を加速していくために、FinTechの最新の技術・サービスに関する情報収集をし、環境の変化に戦略的に対応していくことが、必要不可欠であると考えております。積極的にFinTech業界の情報収集の強化に努め、Paidの利便性向上ならびに革新的なサービスの提供に取り組んでまいります。

最後に、2016年3月29日、当社株式の上場市場が、東京証券取引所マザーズ市場から東京証券取引所市場第一部に市場変更いたしました。これもひとえに、株主の皆様、お取引先様をはじめとした多くの関係者の皆様のご支援、ご高配の賜物であることより感謝申し上げます。

今後も、業容の拡大と企業価値向上を図り、広く社会に貢献できる企業となるよう努め、より多くの皆様のご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年7月

連結業績

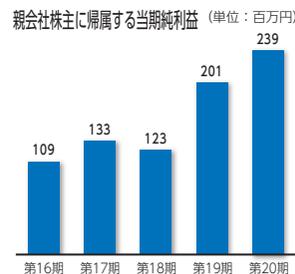
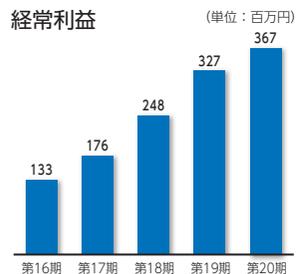
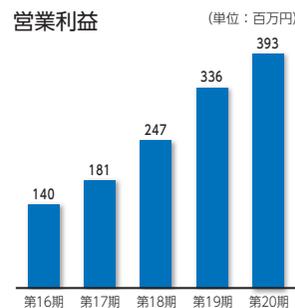
POINT

- 2016年3月29日に東京証券取引所市場第一部へ上場市場を変更。  
株式市場変更に係る上場関連費用22,104千円を営業外費用に計上。
- Paid事業、売掛債権保証事業の売上が順調にのびた一方で、スーパーデリバリーの国内流通が第3四半期連結会計期間まで低迷。第4四半期連結会計期間に回復したものの、通年の業績の成長率は抑制されました。

売上高 2,229,642千円 (+ 8.4%)

経常利益 367,760千円 (+12.2%)

親会社株主に帰属する当期純利益 239,376千円 (+18.7%)



※第19期より、会計方針の変更により、売上高の表示方法を総額表示から純額表示へ変更いたしましたので、第18期以前の数値につきましても、遡及修正値で表示しております。

セグメント別の概況

EC事業

売上高 1,583,119千円 (+ 2.3%)  
セグメント利益 223,130千円 (- 4.5%)

- ・スーパーデリバリーの国内流通が第3四半期連結会計期間まで低迷。第4四半期連結会計期間に回復するも通年分をカバーするには至らず。
- ・スーパーデリバリーで2015年8月から越境ECサービス「SD export」がスタート。  
海外の会員小売店数は堅調に増加し、海外流通額 (SD exportと国内販売向けサイトでの海外流通額の合算) は前期比60%以上増加。

Paid事業

売上高 352,770千円 (+30.9%)  
セグメント利益 20,366千円  
(前期セグメント損失 16,641千円)

- ・Paidの知名度が向上し、大手企業の獲得も増加。
- ・加盟企業の増加とともに、取引高も増加し、第2四半期連結会計期間に黒字転換。  
その後も順調に売上高、利益ともに増加。

売掛債権保証事業

売上高 666,644千円 (+17.3%)  
セグメント利益 111,248千円 (+50.7%)

- ・引き続き保証残高の拡大を図り、売上高も増加。
- ・順調に保証残高が積み上がっている事業用家賃保証サービスは、サービス内容を手厚く使いやすいものに一部改定し、一層の利用者獲得増を図る。